

▶OBに甲子園本番に向けての意気込みを話す主将の松井拓真君（3—5）



宿舎にOBがサプライズ訪問

元主将の山中さんは今回の甲子園について「これからどんどん彦根東の野球が全国に広まっていくので、OBとして素直にうれしい」と笑顔を見せ、4年前の甲子園出場を振り返つて「自分たちの試合は声の連携、コミュニケーションがあまりとれていなかったので、声を掛け合ってチ一ム一丸となつて戦い

8月5日、宿舎での夕食時間に4年前の甲子園出場に選手だった野球部OBの山中俊亮さん、武田圭太さん、平尾拓也さんがサプライズ訪問し、選手を激励した。選手にはお菓子などの食べ物が贈られた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金龜町4番7号



抜いてほしい」と助言した。また選手に向けて「精一杯プレーする姿は応援してくださった方々に対する恩返しになると恩返しになると思いう。感謝の気持ちを持つて一球一球を楽しみ、甲子園の雰囲気を味わって全力でプレーしてほしい」とエールを送った。

武田さんは「今年のチームは投手陣が豊富でバッテリーや打線が強く、とても力があると感じていたので、夏の県大会でも春大会のように優勝できると思っていた」と微笑んだ。選手に向けて「地に足



送つた

悔いの残らない試合にしてほしい」とメッセージを送った。平尾さんは4年前の甲子園出場を「自分たちの試合は気付いたら終わっていて何もできなかつた」と振り返った。また選手に向け「緊張して頭が真っ白になると思うが、今までやつてきたことを出し切つてほしい。全力で楽しむのが一番。周りからの期待は大きいいが、それに応えようとせずに自分たちの野球を貫いて楽しんでほしい」とメッセージを

着けて浮き足立たず、また
雰囲気に呑まれないよう試合
に集中してほしい」とアドバイス
を以て、最後に「甲子園出場
おめでとう。ここまで来たら
楽しんで伸び伸びとプレーし、



▼OBからの贈り物をもらつ松井君